

消防団辞令交付式

4月17日、市役所で団長、副団長、市内34分団の分団長の出席により、吉野川市消防団辞令交付式が行われ、佐藤消防団長から新しく分団長になった9名に辞令書が交付されました。
辞令交付式の後に分団長会議が行われ、令和8年度の訓練等の実施計画について説明がありました。



△消防団辞令交付式の様子

令和8年度から分団長になられたのは次の方々です。

| | |
|------------|-------|
| 鴨島方面第2分団長 | 森本 国弘 |
| 鴨島方面第3分団長 | 蔭山 英和 |
| 鴨島方面第4分団長 | 久保 正昇 |
| 鴨島方面第8分団長 | 河野 正治 |
| 鴨島方面第10分団長 | 森 弘侑 |
| 川島方面第4分団長 | 大石 康信 |
| 川島方面第7分団長 | 尾池 昌治 |
| 川島方面第10分団長 | 那須 憲二 |
| 山川方面第6分団長 | 開 水男 |

100歳の誕生日おめでとうございます



瀬尾良枝さん

5月10日、瀬尾良枝さんが100歳のお誕生日を迎えられました。5人きょうだいの長女として生まれ、結婚後は鴨島町で80歳すぎまで美容師としてご活躍されました。全国大会での受賞経験もあり、仕事と子育てを両立されてきました。おしゃれへの関心は今も変わらず、若々しい装いやスキンケアを大切にされています。日々の生活では、できる範囲のことをゆっくり自分のペースで行うことを心がけておられます。

長寿の秘訣について何うと「お客様や友人とのおしゃべりかな」とにこやかに語ってくださいました。現在はリハビリやサービス付き高齢者向け住宅（サ高住）の職員との会話を楽しみながら、穏やかな日々を過ごされています。

吉野川市内の100歳以上の長寿者は55人(女性51人 男性4人)になりました。



できごと

yoshinogawacity



春の叙勲「旭日小綬章」を受章



△受章された北川定克さん

△受章された河野利英さん

令和8年春の叙勲が4月29日に発令され、本市から推薦した北川定克さん、河野利英さんが旭日小綬章を受章されました。

北川さんは、平成3年4月に鴨島町町議会議員として、平成16年10月から吉野川市市議会議員として、令和7年5月まで町議から通算32年の長きにわたりその職務を全うされました。

また、河野さんは、平成7年2月に美郷村議会議員として、平成15年2月に美郷村長として、平成17年5月から吉野川市市議会議員として令和7年5月まで、村議から通算30年の長きにわたりその職務を全うされました。

それぞれの功績を表彰するため、天皇の国事行為である栄典の授与として、勲章と勲記が伝達されました。

春の叙勲

受章おめでとうございます

瑞宝単光章（消防功労）

板川 秀男 さん（山川町）

板川さんは、昭和63年10月に山川町消防団に入団されて以来意欲的に消防団活動に取り組み、平成21年からは消防副団長としてその重責を全うされました。令和2年に退団するまで約32年の長きにわたり、地域防災の「要」として平常時・非常時問わず地域に密着し、住民の安心と安全を守るという重要な役割を担い、消防行政の発展に寄与されました。



△後藤田知事(左)と板川秀男さん(右)

OCR100m公式大会2026 in 吉野川

4月18日、鴨島町にあるオプスタクルスポーツ吉野川コースで「OCR100m公式大会 2026 in 吉野川」が開催され、男女合わせて100名以上の選手が世界大会への出場権を目指し熱い戦いを繰り広げました。



△大会の様子

ネットスカップ

4月18日、19日の2日間、本市をホームタウンとして活動するFC徳島の協力のもと少年サッカー大会「第3回ネットスカップ」がバンブーパークで開催されました。(主催：ネットトヨタ徳島、共催：吉野川市) 市内外から16チームが参加し、選手たちは勝利をめざして、最後まで諦めず、元気いっぱいボールを追い続けました。



3位決定戦を戦う麻植FCと大松サッカー少年団



第六話 「穴吹の淵」
昔、穴吹の村にお聖と言う少女がおった。お聖は早うに父母を失くしたせいとか、優しい心根の少女で、さまざま生きものにも情けをかけるような娘であった。それは時には人が忌み嫌う生きもの、蛇や蜘蛛にさえ手を差し伸べるほどであった。ある年、阿波の国を三年続けて大雨が襲い、四国三郎はその暴れ川の異名の通り、大切な田畑を流し、たくさんの村を洪水で潰してしもうた。村の長老たちは頭を抱えた末、大規模な土手を築くことを決め、そこに人柱を立てることにした。そうしてその生贄に父母のいなくなったお聖が選ばれることとなった。
白装束で身を包んだお聖は覚悟を決め、人柱の穴の縁に立った。
「川の竜神さま、人々の暮らしを守りたまえ」
お聖が念仏のように願いを口にしたら、突然周りに風が巻き起こり、川を淵から恐ろしい大蛇が現れた。それはかつて幼蛇だった頃、お聖に命を助けられた蛇神であった。大蛇はお聖を背に乗せ、人々を尻目に川の淵へと姿を消した。そうして出来上がった穴吹の土手は、その後の大雨にも耐え、川が暴れることはなかったという。
おしまい



吉野川市出身の漫画家とちくん